

## ＜山梨県中央市＞市議会 庁舎増改築 住民投票案を否決 市「計画を続行」

毎日新聞 2016年5月20日 地方版

中央市議会は19日、同市が進める庁舎増改築に反対する市民グループから直接請求があった増改築の是非を問う住民投票条例案を反対多数で否決した。田中久雄市長は閉会后、記者団に対し、従来通りの計画を進めていく考えを示した。

この日は臨時市議会の最終日。採決に先立ち、条例制定の請求代表者で、市の計画に反対する「中央市の未来を考える市民の会」会長の田中周治さん（81）が意見陳述した。

玉穂、田富、豊富の旧3町村による2006年に合併した当時の協定書で「新たな庁舎建設については、交通事情や他の官公署との関係など市民の利便性などを考慮する中で、新市の中心部に建設する」と触れていることに言及。「増築する庁舎は市の中心部から外れている」として、「市は（当時の）決定を変えてしまった」と主張。「この変更を市民に知らせることを欠いた」と訴えた。

続いて、反対、賛成の立場から市議がそれぞれ3人ずつ討論を行った。採決の結果、賛成3、反対13で住民投票条例案は否決された。終了後、市民の会の田中さんは「残念だ。諦めることは考えていない。どういう運動をするかは皆さんと相談したい」と話した。田中市長は「（計画を巡っては）長い時間をかけて検討してきた。議会の中で評価されてありがたい」と述べた。

一方、今回、有権者数の1割近い2272人の有効署名が集まったことについては、「真摯（しんし）に受け止め、継続して市民に説明していきたい」と述べた。

市の計画では行政機能を田富庁舎に集中させ、玉穂・豊富の2庁舎は支所とし、19年度の完成を目指す。

【後藤豪】